

## 雜 錄

### 本邦製鐵業の發展を顧みて

(日本製鐵參考資料第6卷第5號より轉載)

中 井 勵 作

#### 四. 製鐵所特別會計法

●法律第四十六號 大正十五年三月三十一日

- 第一條 製鐵所ノ事業ヲ經營スル爲從來ノ固定資本及据置運轉資本並將來ノ製鐵所益金及本會計ノ負擔ニ屬スル公債又ハ借入金ヲ以テ資本ト爲シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充テ特別會計ヲ設置ス
- 第二條 製鐵所ニ於テ固定財産ノ擴張及改良ニ要スル經費ヲ支辨スル爲必要アルトキハ公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ爲スコトヲ得但シ公債又ハ借入金ノ額ニ付テハ帝國議會ノ協賛ヲ經ヘシ  
製鐵所ニ於テ運轉資金ニ充ツル爲必要アルトキハ最高六千萬圓ヲ限度トシ公債ヲ發行シ又ハ借入ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 次ニ掲クル國債ハ本會計ノ負擔トス
- 一 製鐵所ノ創設及擴張ニ必要ナル經費ヲ支辨スル爲從來發行シタル公債及之ガ借換ノ爲從來發行シタル公債
  - 二 前條ノ規定ニ依ル公債又ハ借入金
  - 三 前二號ニ規定スル國債ノ借換ノ爲起債シタル國債
- 前項ニ規定スル國債ノ償還金、利子、割引料並發行及償還ニ關スル經費ノ支出ニ必要ナル金額ハ毎年度之ヲ國債整理基金特別會計ニ繰入ルヘシ
- 第四條 本會計ハ之ヲ資本勘定、用品勘定及作業勘定ニ區分ス
- 第五條 資本勘定ハ作業益金繰入金、固定財産減價償却繰入金、公債募集金、借入金、固定財産ノ賣拂代金其ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ固定財産ノ擴張費改良費補充費、本勘定ニ於テ使用スル固定財産ノ維持修理費國債償還金其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歳出トス
- 第六條 用品勘定ハ用品收入、工作收入ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ用品費、工作費、本勘定ニ於テ使用スル固定財産ノ維持修理費減價償却金其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歳出トス
- 第七條 作業勘定ハ作業上ノ諸收入、固定財産ノ貸付料、預金利子其ノ他附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トシ作業上ノ諸費用、總係費、本勘定ニ於テ使用スル固定財産ノ維持修理費、減價償却金、國債ノ利子割引料其ノ他附屬諸費ヲ以テ其ノ歳出トス
- 第八條 需要ノ増加ニ基ク生産又ハ販賣ノ増加ニ因リテ生シタル豫算ノ不足ヲ補フ爲用品勘定及作業勘定ノ歳出ニ豫備費ヲ設クヘシ
- 第九條 用品勘定又ハ作業勘定ニ於テ使用スル固定財産ノ減價償却金ハ之ヲ資本勘定ニ繰入ルヘシ
- 第十條 用品勘定又ハ作業勘定ニ於テ決算上生シタル利益又ハ損失ハ之ヲ資本勘定ニ移シ整理スヘシ
- 第十一條 資本勘定ニ於テ決算上生シタル利益ハ之ヲ製鐵所益金トシ資本ニ組入ルヘシ  
資本勘定ニ於テ決算上損失ヲ生シタルトキハ之ヲ製鐵所損金トシ資本ヲ減額スヘシ
- 第十二條 政府ハ毎年本會計ノ歳入歳出豫算ヲ調製シ歳入歳出ノ總

豫算ト共ニ之ヲ帝國議會ニ提出スヘシ

- 第十三條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ最高千萬圓ヲ限度トシ一時借入ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得  
一時借入金及融通證券ニ依ル資金ハ當該年度内ニ之ヲ返還スヘシ
- 第十四條 本會計ニ於テ支拂上現金ニ餘裕アルトキハ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ
- 第十五條 本會計ノ收入支出及損益計算ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

#### 附 則

- 第十六條 本法ハ大正十六年度ヨリ之ヲ施行ス
- 第十七條 作業會計法第一條第一號乃至第六號ヲ次ノ如ク改メ同法第二條第三項ヲ削ル
- 第一 印刷局
  - 第二 海軍火藥廠
  - 第三 海軍燃料廠
  - 第四 專賣局
- 第十八條 明治三十八年法律第十七號第一條第一項中「及製鐵所」、  
「專賣局ニ在リテハ」及「製鐵所ニ在リテハ九千八百萬圓」ヲ削ル
- 第十九條 本法ニ依リ本會計ニ於テ借入ヲ爲シ又ハ一時借入ヲ爲ス必要アル場合ニ於テハ當分ノ内當該年度内ニ限り國庫餘裕金ヲ繰替使用スルコトヲ得
- 第二十條 本法施行前ニ於ケル製鐵所特別會計(作業會計法ニ依ルモノ)ニ屬スル收入及支出ノ未済額ハ之ヲ本會計ニ繰越スヘシ
- 第二十一條 一般會計ノ歳出豫算ニ於ケル製鐵所擴張費ハ大正十六年度以降本會計ノ所屬トス  
一般會計ノ歳出豫算ニ於ケル製鐵所擴張費及製鐵所設備補足費ニシテ大正十五年度ヨリ翌年度ニ繰越ヲ要スルモノハ之ヲ本會計ニ移シ使用スルコトヲ得  
前項ノ規定ニ依リ繰越ヲ爲シタル場合ニ於テハ一般會計ハ其ノ繰越額ニ相當スル金額ヲ本會計ニ繰入ルヘシ

#### 製鐵所特別會計規則

●勅令第三百五十一號 大正十五年十二月十四日

#### 第一章 豫算決算

- 第一條 本會計ニ於ケル歳入歳出豫算ハ之ヲ資本、用品及作業ノ三勘定ニ分チ各勘定中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ
- 第二條 所管大臣ハ毎年度歳入歳出ノ豫定計算書ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ  
前項ノ豫定計算書ニハ當該年度豫定損益計算表並前々年度損益計算表、同貸借對照表、同財産目錄、同固定財産價格増減表及前々年度以前既往五箇年間資本増減表ヲ添附スヘシ
- 第三條 會計規則第十九條、第二十條及第二十四條ノ規定ハ製鐵所

特別會計法第八條ノ豫備費ノ支出ニ付之ヲ準用ス

第四條 所管大臣ハ毎年度歳入歳出ノ決定計算書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

## 第二章 收入 支出

第五條 歳入歳出ノ豫算ハ決定ノ後豫備費ヲ除キ所管大臣製鐵所長官ニ命シテ之ヲ執行セシムヘシ但シ製鐵所ノ部局長ヲシテ其ノ一部ヲ執行セシムルコトヲ得

第六條 本會計ニ於テハ本會計ニ屬スル前年度ヨリノ現金ノ持越高、當該年度ノ收入済歳入額並製鐵所特別會計法第十三條ニ規定スル一時借入金及融通證券ニ依ル資金ノ現在額ヲ支拂元受高トシ歳出ヲ支出スルハ此ノ支拂元受高ヲ超過スルコトヲ得ス

第七條 毎年度ニ屬スル歳入歳出金ノ出納ヲ爲スハ當該年度三月三十一日限トス但シ會計法第十九條ノ規定ニ依リ歳出金ニ繰替使用シタル現金補填ノ爲メ歳出スル場合ハ翌年度四月三十日、用品勘定又ハ作業勘定ノ益金ヲ資本勘定ニ繰入ルル場合ハ翌年度五月三十一日迄之カ出納ヲ爲スコトヲ得

第八條 毎年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ當該年度三月三十一日限トス

第九條 臨時ノ收入ニシテ納入告知書ヲ發スルモノハ其ノ納入告知書ニ指定シタル納期末日ノ屬スル年度ノ歳入トス

第十條 本會計ニ於テ毎年度内ニ支拂ヲ爲スヘキ義務ヲ生シ當該年度三月三十一日迄ニ支出済トナラサル歳出ニシテ時効完成ニ至ラサルモノハ支出未済トシテ逐次翌年度ニ繰越スヘシ但シ支出済額ト合シテ豫算定額ヲ超過スルコトヲ得ス

第十一條 歳入徴收官ハ毎月徴收報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ之ヲ製鐵所長官ニ送付スヘシ

第十二條 製鐵所長官ハ徴收報告書ニ依リ毎月徴收總報告書ヲ調製シ参照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第十三條 支出官ハ毎月支出済額報告書ヲ調製シ之ヲ製鐵所長官ニ送付スヘシ

第十四條 製鐵所長官ハ支出済額報告書ニ依リ毎月支出總報告書ヲ調製シ支出済額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

## 第三章 資本 及 財産

第十五條 本會計ノ資本ヲ分チテ固有資本及借入資本ノ二種トス  
本會計ノ負擔ニ屬スル公債又ハ借入金ニ相當スル金額ヲ借入資本トシ其ノ他ノモノヲ固有資本トス

第十六條 製鐵所益金ハ之ヲ固有資本ニ組入レ製鐵所損金ハ之ヲ固有資本ヨリ減額スヘシ

第十七條 財産ハ價格ヲ附シテ之ヲ計算スヘシ

第十八條 本會計ニ於テハ土地、建物、工作物、船舶、機械、重要ナル器具備品並製鐵所ノ工業所有權ヲ以テ固定財産トス

## 第四章 計 算

第十九條 財産ヲ受入レタル場合ニ於テハ次ノ各號ニ依リテ之カ價格ヲ定ムヘシ

- 一 土地ハ購入費、埋立費又ハ交換當時ニ於ケル評定價格
- 二 建物、工作物、船舶、機械、器具、備品、製鐵所又ハ工業所有權ハ建造費、製作費又ハ購入費
- 三 用品ハ購入費、採掘費又ハ製作費
- 四 生産品ハ生産費
- 五 前各號ニ依リ價格ヲ定ムル能ハサルトキハ三人以上ノ評價人

ヲ定メ前各號ニ準シ之ヲ評定セシメタル價格ノ平均額

据付費、運搬費、地上物件移轉費、地均費其ノ他之ニ準スヘキ經費ヲ要シタルトキハ之ヲ前項ノ價格ニ加算スヘシ

毎年度末ニ於ケル未成工事又ハ仕掛品ノ價格ハ之ニ要シタル經費ヲ以テ當該物件ノ價格トス

第二十條 固定財産ノ價格ハ受入ノ翌年度ヨリ毎年度末ニ於テ次ノ各號ニ規定スル價格ニ之ヲ改定スヘシ但シ土石採取ヲ目的トセサル土地ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一 鑛業權ニ付テハ總有效採取量及採掘ノ難易ヲ斟酌シテ鑛區ヲ区分シ各區分ニ付テハ其ノ價格減耗割合ヲ定メ當該年度採取量ノ總有效採取量ニ對スル割合及當該年度採掘場所ノ價格減耗割合ニ應シテ價格ヲ遞減シタル殘額

二 土石採取ヲ目的トスル土地ニ付テハ殘骸價格ヲ定メ前號ニ準シテ價格ヲ遞減シタル殘額

三 工業所有權ニ付テハ存続年限ニ應シテ價格ヲ遞減シタル殘額

四 其ノ他ノ固定財産ニ付テハ耐用年限及殘骸價格ヲ定メ之ニ應シテ價格ヲ遞減シタル殘額

第二十一條 固定財産ニ擴張、改良又ハ補充ノ爲メ工事ヲ施シタル場合ニ於テハ其ノ費額及除却シタル部分ノ價格ヲ斟酌シテ其ノ價格ヲ改定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ其ノ耐用年限及殘骸價格ヲ改定スヘシ  
災害復舊ノ爲メ固定財産ニ修理ヲ施シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

第二十二條 前二條ニ規定スル耐用年限ハ當該固定財産ノ目的トスル用法ニ從ヒ通常必要ナル維持修理ヲ施スモノトシテ其ノ年限ヲ決定シ其ノ受入又ハ前條ノ價格改定ノ翌年度ヨリ起算スルモノトス

第二十三條 用品及生産品ノ價格ハ毎年度末ニ於テ賣買契約済ノモノニ付テハ其ノ賣渡代價、其ノ他ノモノニ付テハ其ノ市價カ第十九條ノ規定ニ依リテ定マリタル價格以下ニ低落シタル場合ニ限り市價ニ依リ之ヲ改定スヘシ

第二十四條 財産毀損變質其ノ他ノ原因ニ因リ減損シタル場合ニ於テハ其ノ割合ニ應シ其ノ價格ヲ改定スヘシ

第二十五條 用品勘定ヨリ他勘定ヘノ用品ノ引渡價格ハ第十九條、第二十三條又ハ前條ノ規定ニ依リテ定マリタル價格ニ取扱諸費及損減少合ヲ豫定シ之ヲ割掛タルモノトス

第二十六條 用品勘定又ハ作業勘定ニ於テ使用スル固定財産ノ減價償却金ハ第二十條ノ規定ニ依リ當該年度ニ於テ減少スル價格ニ相當スル金額トス但シ固定財産補充ノ爲メ工事ヲ施シタル場合ニ於テ當該固定財産ノ價格ノ増加額カ工事ノ爲メ要シタル經費ニ達セサルトキハ其ノ差額ヲ減價償却金ニ加算スヘシ

第二十七條 資本勘定ノ利益及損失ニ屬スルモノ次ノ如シ  
利益ニ屬スルモノ

- 一 歳入收入済(他勘定ヨリノ益金繰入金ヲ除ク)
- 二 借入資本減少
- 三 固定財産及物品受入
- 四 他勘定計算
- 五 未決済計算
- 六 雜益
- 七 他勘定ヨリ利益繰入

損失ニ屬スルモノ

- 一 歳出支出済
- 二 借入資本増加
- 三 他勘定計算
- 四 未決済計算
- 五 固定財産ノ減
- 六 雜損
- 七 他勘定ヨリ損失繰入

第二十八條 用品勘定又ハ作業勘定ノ利益及損失ニ屬スルモノ次ノ如シ

利益ニ屬スルモノ

一 歳入收入済 二 物品受入 三 他勘定計算 四 未済済計算

損失=屬スルモノ

一 歳出支出済 二 物品拂出 三 他勘定計算 四 未済済計算 五 雜損

第二十九條 第二條第二項ノ規定ニ依リ豫定計算書ニ添附スヘキ書類ノ様式ハ所管大臣大臣協議シテ之ヲ定ム

第五章 帳簿

第三十條 製鐵所ハ勘定毎ニ日記簿、原簿及補助簿ヲ備ヘ其ノ事業ニ關スル一切ノ計算ヲ登記スヘシ

第三十一條 製鐵所ハ勘定毎ニ歳入簿ヲ備ヘ歳入ノ豫算額、調定済額、收入済額、不納缺損額及收入未済額ヲ登記スヘシ

第三十二條 支出官ハ支出簿ノ外支拂元受高差引簿ヲ備ヘ支拂元受高支出済額及殘額ヲ登記スヘシ

第三十三條 製鐵所ハ勘定毎ニ歳出簿ヲ備ヘ歳出ノ豫算額、豫算決定後増加額、支出済額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ 製鐵所ハ支拂元受高、差引簿ヲ備ヘ支拂元受高支出済額及殘額ヲ登記スヘシ

第六章 雜則

第三十四條 本令ニ規定セサルモノニ付テハ會計規則ノ定ムル所ニ依ル

附 則

第三十五條 本令ハ大正十六年度ヨリ之ヲ施行ス

第三十六條 作業會計規則第三十四條中「製鐵所、」及同規則第三十五條中「製鐵所長官、」ヲ削ル

第三十七條 大正十六年度及大正十七年度歳入歳出ノ豫定計算書ニハ當該年度豫定損益計算表及製鐵所特別會計(作業會計法ニ依ルモノ)ノ其ノ年三月三十一日ニ終リタル會計年度ノ受拂勘定表及固定資本價格増減表ヲ添附スヘシ

第三十八條 本令施行前ニ於ケル製鐵所特別會計(作業會計法ニ依ルモノ)ニ屬スル財産ハ之ヲ本會計ニ歸屬セシム

前項ノ規定ニ依リ本會計ニ歸屬スル財産ハ從前ノ規定ニ依ル大正十五年度末ノ價格ヲ以テ其ノ受入價格トス但シ必要アルトキハ第十九條ノ規定ニ準シ之カ受入價格ヲ定ムルコトヲ得

第一項ニ規定スル財産カ第二十條ノ規定ニ依リ毎年價格ヲ遞減スヘキモノナルトキハ其ノ耐用年限ハ大正十六年度ヨリ之ヲ起算シ價格ノ改定ハ大正十六年度以降之ヲ爲スヘシ

第三十九條 一般會計歳出豫算ニ於ケル製鐵所擴張費及製鐵所設備補足費支辨ニ屬スル物件ハ之ヲ本會計ニ歸屬セシム

前項ノ規定ニ依リ本會計ニ歸屬スル物件ノ受入價格ニ付テハ第十九條第三項ノ規定ヲ準用ス

製鐵所特別會計規則第三十條ノ規定ニ依ル

補助簿細科目

昭和二年八月十六日豫第一二三號ノ四製鐵所長官發商工大臣宛報告(昭和二年四月一日ヨリ適用)

製鐵所會計補助簿細科目(資本勘定)

原簿科目	補助簿科目
固有資本	(補助簿ニ登記セス)
信入資本	公債、借入金
一時借入金	(一時借入金ナル一科目ニテ整理ス)
國庫餘裕金繰替	(國庫餘裕金繰替ナル一科目ニテ整理ス)
損益	對照科目ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

何々收入(款)

何々費(款)

用品勘定交付資金

作業勘定交付資金

收入未済

前年度以前收入未済

固定財産減價償却金受入未済

支出未済

前金受

前金拂

收入未済固定財産未渡

前年度以前收入未済固定財産未渡

交付材料

公債較差

預金

國庫

固定財産

未成工事

器具備品

製鐵所會計補助簿細科目(用品勘定)

原簿科目

受入資金

損益

何々收入(款)

何々費(款)

收入未済

前年度以前收入未済

支出未済

支拂期日未到支出未済

固定財産減價償却金繰入未済

前金受

損益

何々收入(款)

何々費(款)

收入未済

前年度以前收入未済

納期未到收入未済

支出未済

歳入科目(款)毎ニ口座ヲ設ク

歳出科目(款)毎ニ口座ヲ設ク

(用品勘定交付資金ナル一科目ニテ整理ス)

(作業勘定交付資金ナル一科目ニテ整理ス)

(收入未済ナル一科目ニテ整理ス)

(前年度以前收入未済ナル一科目ニテ整理ス)

(固定財産減價償却金受入未済ナル一科目ニテ整理ス)

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

但シ固定財産及物品購入代以外ノモノハ歳出科目(款)毎ニ口座ヲ設ケテ整理ス

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

同前

同前

同前

同前

同前

(公債較差ナル一科目ニテ整理ス)

(預金ナル一科目ニテ整理ス)

(國庫ナル一科目ニテ整理ス)

次ノ九科目ニ分ツ

土地、土石採取ヲ目的トスル土地

建物、工作物、船舶、機械、重要ナル器具、

備品、鑛業權、工業所有權

(未成工事ナル一科目ニテ整理ス)

器具、備品

器具、備品

器具、備品

對照科目ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

(受入資金ナル一科目ニテ整理ス)

對照科目ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

歳入科目(款)毎ニ口座ヲ設ク

歳出科目(款)毎ニ口座ヲ設ク

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

但シ雜收入ニ付テハ雜收入ナル一科目ニテ整理ス

同前

同前

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

但シ物品購入代以外ノモノハ歳出科目(款)毎ニ口座ヲ設ケテ整理ス

同前

同前

(固定財産減價償却金繰入未済ナル一科目ニテ整理ス)

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

對照科目ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

歳入科目(款)毎ニ口座ヲ設ク

歳出科目(款)毎ニ口座ヲ設ク

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

但シ雜收入ニ付テハ雜收入ナル一科目ニテ整理ス

同前

同前

人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク

但シ物品購入代以外ノモノハ歳出科目(款)毎ニ口座ヲ設ケテ整理ス

固定財産減價償却 金繰入未済	(固定財産減價償却金繰入未済ナル一科目 ニテ整理ス)	人名ノ異ナル毎ニ口座ヲ設ク
前金拂	同	前
前金拂	同	前
收入未済物品未渡	同	前
前年度以前收入未 済物品未渡	同	前
交付材料	同	前
國庫	(國庫ナル一科目ニテ整理ス)	
用品	品種別ニ口座ヲ設ク	
用品仕掛品	同	前
器具備品	器具、備品	
製鐵所會計補助簿細科目 (作業勘定)		
原簿科目	補助簿科目	
受入資金	(受入資金ナル一科目ニテ整理ス)	
前金拂	同	前
注文者提供材料受	同	前
收入未済物品未渡	同	前
前年度以前收入未 済物品未渡	同	前
交付材料	同	前
國庫	(國庫ナル一科目ニテ整理ス)	
生産品	品種別ニ口座ヲ設ク	
仕持品	同	前
注文者提供材料	同	前
器具備品	器具、備品	

出賬所ニ於テ取扱フモノハ同所ニ於テ本所同様ノ帳簿ヲ備ヘ整理ス  
ルヲ以テ本所ニ於テ「出張所原簿」(各出張所毎ニ區分ス)ナル補助  
簿ヲ備ヘ原簿科目ニ依リ整理ス

**五. 製鐵原料關係借款ヲ製鐵所ニ肩代ノ實行**

從來政府カ鐵鑛石獲得上ノ必要ヨリ支那漢冶萍公司裕繁公司及本  
邦石原産業海運會社ニ貸付ケタル資金ノ内仍未償還ニ屬スル債權ヲ  
大藏省預金部等ヨリ製鐵所特別會計ニ肩代リヲ爲シ(昭和四年法律  
第二十八號及同五年法律第三號)以テ鐵鑛石ノ供給者ト借款ノ債權  
者トノ關係ヲ緊密ナラシメ彼我俱ニ事業ノ運営上利便ヲ得且ツ預金  
部等ノ償還收入ヲ確實ナラシメタリ(本件ハ日本製鐵株式會社設立  
ニ因リ官營製鐵所廢止ノ際一般會計ニ歸屬スルコトトナリタリ)

**製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部ノ橫濱正金銀  
行ニ對スル債權ノ讓渡ヲ受ケルコトニ關スル件**

昭和四年三月二十八日法律第二十八號

第一條 製鐵所特別會計ハ中華民國漢冶萍煤鐵廠有限公司ニ對ス  
ル貸付資金トシテ大藏省預金部カ昭和二年一月三十一日橫濱正金  
銀行ニ貸付シタル二百萬圓ニ關スル債權ノ讓渡ヲ受ケ其ノ債權額  
ニ相當スル金額及其ノ利息ノ債務ヲ大藏省預金部ニ對シ負擔スル  
コトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ製鐵所特別會計ガ讓渡ヲ受ケタル債權ノ  
元本ノ償還金ハ之ヲ資本勘定ノ歳入トシ其ノ利子ハ之ヲ作業勘定  
ノ歳入トス

**附 則**

本法ハ昭和四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

**製鐵所特別會計ニ於テ大藏省預金部又ハ日本銀行  
ノ橫濱正金銀行又ハ株式會社日本興業銀行ニ對ス  
ル債權ノ讓渡ヲ受ケルコトニ關スル件**

昭和五年五月十六日法律第三號

第一條 製鐵所特別會計ノ大藏省預金部又ハ日本銀行ノ有スル次

債權ノ讓渡ヲ受ケ其ノ債權額ニ相當スル金額及其ノ利息ノ債務ヲ  
大藏省預金部又ハ日本銀行ニ對シ負擔スルコトヲ得

一 大藏省預金部カ中華民國漢冶萍煤鐵廠有限公司ニ對スル貸  
付資金トシテ橫濱正金銀行ニ貸付シタル三千四百十萬千二百三  
十六圓九錢ニ關スル債權

二 大藏省預金部カ中華民國漢冶萍煤鐵廠有限公司ニ對スル貸  
付資金トシテ株式會社日本興業銀行ニ貸付シタル二百五萬千五  
百五十一圓八十一錢ニ關スル債權

三 大藏省預金部カ中華民國裕繁鐵廠股份有限公司ニ對スル貸付  
資金トシテ橫濱正金銀行ニ貸付シタル四百十四萬六千七百四十  
七圓十八錢ニ關スル債權

四 大藏省預金部カ石原産業海運會社ニ對スル貸付資金トシ  
テ橫濱正金銀行ニ貸付シタル百四十二萬四千五百二十八圓二十  
一錢ニ關スル債權

五 日本銀行カ中華民國漢冶萍煤鐵廠有限公司ニ對スル貸付資  
金トシテ橫濱正金銀行ニ貸付シタル二百九十二萬四千七百五十  
六圓二十五錢ニ關スル債權

第二條 前條ノ規定ニ依リ製鐵所特別會計ガ讓渡ヲ受ケタル債權ノ  
元本ノ償還金ハ之ヲ資本勘定ノ歳入トシ其ノ利子ハ之ヲ作業勘定  
ノ歳入トス

**附 則**

本法ハ昭和五年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

**昭和九年法律第四十號製鐵所特別會計法廢止法律**

昭和九年三月三十一日法律第四十號

製鐵所特別會計法ハ昭和八年度限り之ヲ廢止ス

製鐵所特別會計ニ於ケル現金及權利義務ハ之ヲ一般會計ニ歸屬セシ  
ム

昭和八年度製鐵所特別會計ノ歳出豫算ニ於ケル支出殘額ハ之ヲ一般  
會計ニ繰越シ使用スルコトヲ得(完)